

人文科学研究所研究叢書

48.『中華民国の模索と苦境 1928～1949』

2010年3月15日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格4,600円（税別）

ISBN 978-4-8057-4211-2

まえがき	
第一部 憲政の模索	
第一章 訓政開始と訓政の構想 —孫文の「建国大綱」構想と胡漢民の訓政構想—	米田 剛
第二章 国民党「党治」下の憲法制定活動 —張知本と呉経熊の自由・権利論—	中村 元哉
第三章 共産党根拠地の憲政事業	味岡 徹
第四章 戦後香港における憲政改革と香港社会 —一九四七年から四八年—	塩出 浩和
第二部 戦争・外交・革命	
第一章 顧維鈞とブリュッセル会議 —「条約の神聖」を求めて—	服部 龍二
第二章 誰が国に体を捧げるか —日中戦争期の「傷兵之友」運動—	深町 英夫
第三章 国民政府のヤルタ「密約」への対応とモンゴル問題	吉田 豊子
第四章 戦後国共内戦起因考	斎藤 道彦
第五章 戦後内戦とキリスト教 —雑誌『天風』記事の考察—	石川 照子
あとがき	
索引	